

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

I. 概況

【事業環境】

当第2四半期における当社グループを取り巻く事業環境は、新興国・資源国の底堅い成長による景気の下支えはあったものの、欧州や米国を中心とした金融・資本市場での信用収縮に端を発し、企業収益の先行き不安から雇用情勢が悪化するとともに、個人消費も低迷するなど、幅広い分野に影響が広がった結果、景気の後退色が強まりました。国内経済も、景気を牽引してきた輸出が、新興国向けは堅調に推移したものの、欧米向けが大きく減少したほか、9月下旬からの急速な円高の進行などにより、企業部門を中心に景気の先行き不透明感が高まりました。また、資源価格は落ちつきを見せているものの、物価は高止まり、個人消費も低水準で推移いたしました。

IT投資については、マクロ経済が減速傾向にある中、企業マインドが一段と悪化し、弱含んでおりますが、コンプライアンス、内部統制対応に向けた需要や、グローバル市場での競争力強化など戦略的な目的での先行投資は依然として底堅く推移しております。

【第2四半期累計の概況】

(単位：億円)

	2007年度 第2四半期累計 〔2007年4月1日～ 2007年9月30日〕		2008年度 第2四半期累計 〔2008年4月1日～ 2008年9月30日〕		前年同期比		7月 公表比
		売上高比(%)		売上高比(%)		増減率(%)	
売上高	25,131	100.0	24,537	100.0	▲593	▲2.4	37
売上原価	18,794	74.8	18,128	73.9	▲665	▲3.5	
売上総利益	6,337	25.2	6,409	26.1	72	1.1	
販売費及び一般管理費	5,897	23.5	6,024	24.5	126	2.1	
営業利益	439	1.7	385	1.6	▲53	▲12.3	35
営業外収益	207	0.9	170	0.7	▲36	▲17.7	
営業外費用	347	1.4	265	1.1	▲82	▲23.6	
経常利益	299	1.2	290	1.2	▲8	▲2.9	140
特別利益	136	0.5	29	0.1	▲107	▲78.6	
特別損失	253	1.0	21	0.1	▲232	▲91.6	
税金等調整前四半期純利益	182	0.7	298	1.2	116	64.0	
法人税等	211	0.8	191	0.8	▲20	▲9.8	
少数株主利益	63	0.3	60	0.2	▲2	▲3.9	
四半期純利益	▲93	▲0.4	46	0.2	139	-	46

【第2四半期(直近3ヶ月)の概況】

(単位：億円)

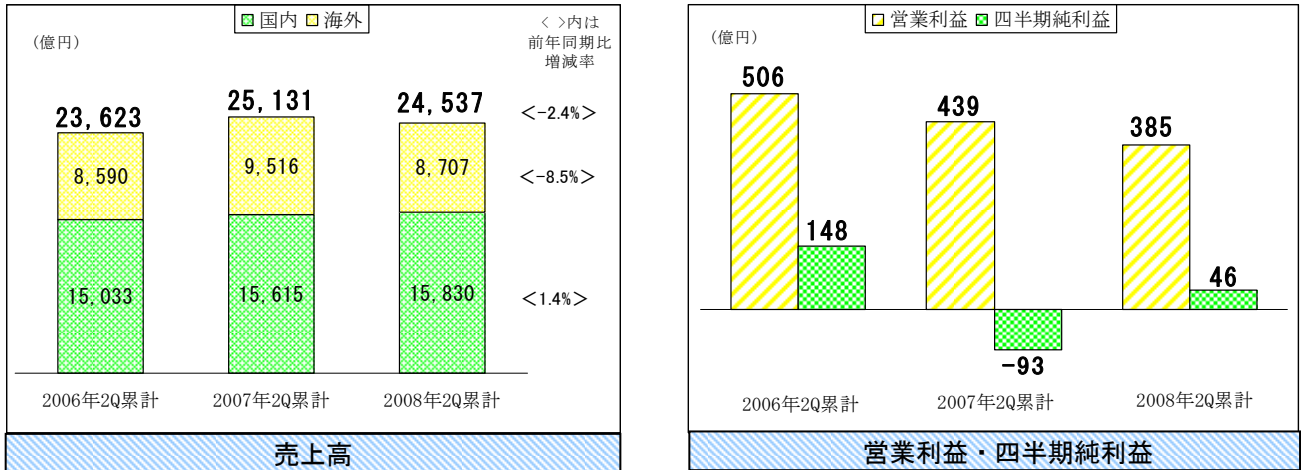
	2007年度 第2四半期 〔2007年7月1日～ 2007年9月30日〕		2008年度 第2四半期 〔2008年7月1日～ 2008年9月30日〕		前年同期比	
		売上高比(%)		売上高比(%)		増減率(%)
売上高	13,463	100.0	12,765	100.0	▲698	▲5.2
営業利益	409	3.0	327	2.6	▲82	▲20.1
経常利益	264	2.0	206	1.6	▲57	▲21.9
四半期純利益	54	0.4	42	0.3	▲11	▲21.2

前年同四半期の金額、前年同期比（増減率）は参考として記載しております。

Ⅱ. 第 2 四半期累計

過年度の売上高及び損益、前年同期比（増減率）は参考として記載しております。また、為替影響除く前年同期比増減率は、概算値にて算出しております。

【損益の状況】



当第 2 四半期累計の売上高は 2 兆 4,537 億円と、前年同期比 2.4% の減収になりました。為替の円高に伴う減収影響を除くと国内、海外ともにほぼ前年同期並みです。LSI や電子部品、パソコン、携帯電話、UNIX サーバが減収となりましたが、国内 SI ビジネスが公共、金融、ヘルスケアなどの分野で伸長し、携帯電話基地局やキャリア向けルータ装置も増収となりました。

営業利益は 385 億円と、前年同期比 53 億円の減益になりました。売上総利益は、SI ビジネスや携帯電話基地局の増収効果、HDD のコストダウンなどにより 72 億円増加し、売上総利益率は 26.1% と、0.9 ポイント改善しました。販売費及び一般管理費は、為替影響による減少はありましたが、テクノロジーソリューションを中心とした戦略的な先行投資費用の負担増や、前年度の年金資産の運用環境悪化による退職給付積立不足償却額の増加などにより、前年同期比 126 億円増加しました。

経常利益は 290 億円と、ほぼ前年同期並みになりました。営業外損益は 45 億円の改善でした。欧州の合弁会社に係る持分法損益がパソコン、サーバの競争激化により悪化しましたが、為替差損益が当第 2 四半期累計においては前年度末との比較で円安に推移したことにより改善したほか、固定資産廃棄損の減少などで改善しました。

ケーブルテレビ会社などの株式の売却益 29 億円を特別利益に、電子部品事業に係る減損損失 21 億円を特別損失にそれぞれ計上し、法人税等や少数株主利益を控除した結果、当第 2 四半期累計の四半期純利益は 46 億円となりました。前年同期には、会計基準の変更に伴うたな卸資産評価損 250 億円を特別損失に計上していたことなどにより、前年同期比 139 億円の改善となりました。

<7 月公表比>

売上高は、パソコンや携帯電話、HDD、ロジック LSI が計画を下回りましたが、サービス事業が伸長したほか、上半期の為替が想定より円安で推移したことにより全体としてはほぼ計画通りとなりました。

営業利益は、パソコン、HDD の減収影響や、ロジック LSI、電子部品の競争激化などによる影響はありましたが、サーバ関連のコストダウン効果や費用効率化、サービス事業の増収効果やコスト効率化などにより全体では 35 億円計画を上回りました。

経常利益は、営業利益が計画を上回ったほか、営業外損益で為替差損や固定資産廃棄損が見込みより減少したことなどにより、140 億円計画を上回りました。海外関係会社からの配当増に対する税負担などがあり、四半期純利益は計画比 46 億円の増加にとどまりました。

<事業の種類別セグメント損益>

(単位：億円)

		2007年度 第2四半期累計 〔2007年4月1日～ 2007年9月30日〕	2008年度 第2四半期累計 〔2008年4月1日～ 2008年9月30日〕	前年同期比
テクノロジー ソリューション	売上高	15,075	15,249	▲174
	営業利益	387	573	▲186
	(営業利益率)	(2.6%)	(3.8%)	(1.2%)
ユビキタス プロダクト ソリューション	売上高	5,750	5,214	▲536
	営業利益	218	88	▲129
	(営業利益率)	(3.8%)	(1.7%)	(▲2.1%)
デバイス ソリューション	売上高	3,979	3,509	▲469
	営業利益	61	▲73	▲134
	(営業利益率)	(1.5%)	(▲2.1%)	(▲3.6%)
その他	売上高	2,537	2,606	▲69
	営業利益	58	77	▲19
	(営業利益率)	(2.3%)	(3.0%)	(0.7%)
消去又は全社	売上高	▲2,211	▲2,042	▲169
	営業利益	▲285	▲282	▲3
連 結	売上高	25,131	24,537	▲593
	国 内	< 62.1% > 15,615	< 64.5% > 15,830	< 2.4% > 215
	海 外	< 37.9% > 9,516	< *35.5% > 8,707	< ▲2.4% > ▲808
	営業利益	439	385	▲53
		(1.7%)	(1.6%)	(▲0.1%)

注1) 売上高にはセグメント間の内部売上高を含みます。

*ご参考) 為替レートが前年同期並みであった場合の
海外売上高比率 38%

注2) < >内は連結売上高に占める割合であります。

<所在地別セグメント損益>

(単位：億円)

		2007年度 第2四半期累計 〔2007年4月1日～ 2007年9月30日〕	2008年度 第2四半期累計 〔2008年4月1日～ 2008年9月30日〕	前年同期比
国 内	売上高	19,667	19,502	▲164
	営業利益	565	620	▲54
	(営業利益率)	(2.9%)	(3.2%)	(0.3%)
海 外	売上高	10,389	9,488	▲901
	営業利益	165	68	▲96
	(営業利益率)	(1.6%)	(0.7%)	(▲0.9%)

注) 売上高にはセグメント間の内部売上高を含みます。

[セグメント情報]

①事業の種類別セグメント情報

(単位：億円)

		2007年度 第2四半期累計	2008年度 第2四半期累計	前年同期比	
		〔2007年4月1日～ 2007年9月30日〕	〔2008年4月1日～ 2008年9月30日〕		増減率(%)
テクノロジー ソリューション	売上高	15,075	15,249	174	1.2
	国内	9,273	9,962	688	7.4
	海外	5,801	5,286	▲514	▲8.9
	営業利益 (営業利益率)	387 (2.6%)	573 (3.8%)	186 (1.2%)	48.1
ユビキタス プロダクト ソリューション	売上高	5,750	5,214	▲536	▲9.3
	国内	3,671	3,448	▲222	▲6.1
	海外	2,079	1,766	▲313	▲15.1
	営業利益 (営業利益率)	218 (3.8%)	88 (1.7%)	▲129 (▲2.1%)	▲59.3
デバイス ソリューション	売上高	3,979	3,509	▲469	▲11.8
	国内	2,613	2,138	▲475	▲18.2
	海外	1,365	1,371	5	0.4
	営業利益 (営業利益率)	61 (1.5%)	▲73 (▲2.1%)	▲134 (▲3.6%)	-
その他	売上高	2,537	2,606	69	2.7
	国内	1,720	1,848	128	7.5
	海外	817	758	▲59	▲7.2
	営業利益 (営業利益率)	58 (2.3%)	77 (3.0%)	19 (0.7%)	33.9
消去又は全社	売上高	▲2,211	▲2,042	169	-
	営業利益	▲285	▲282	3	-
連結	売上高	25,131	24,537	▲593	▲2.4
	国内	15,615	15,830	215	1.4
	海外	9,516	8,707	▲808	▲8.5
	営業利益 (営業利益率)	439 (1.7%)	385 (1.6%)	▲53 (▲0.1%)	▲12.3

注) 売上高にはセグメント間の内部売上高を含みます。

②売上高の主要製品別内訳

（単位：億円）

	2007年度 第2四半期累計 〔2007年4月1日～ 2007年9月30日〕	2008年度 第2四半期累計 〔2008年4月1日～ 2008年9月30日〕	前年同期比		為替影響除く 前年同期比 増減率(%)
			増減率(%)	増減率(%)	
テクノロジーソリューション	15,075	15,249	174	1.2	5%
サービス	11,901	12,041	139	1.2	6%
ソリューション/SI	5,782	6,088	305	5.3	7%
インフラサービス	5,866	5,736	▲129	▲2.2	5%
その他	252	216	▲35	▲14.2	▲14%
システムプラットフォーム	3,173	3,207	34	1.1	5%
システムプロダクト	1,637	1,540	▲96	▲5.9	▲4%
ネットワークプロダクト	1,535	1,666	130	8.5	14%
ユビキタスプロダクトソリューション	5,750	5,214	▲536	▲9.3	▲7%
パソコン/携帯電話	4,069	3,586	▲483	▲11.9	▲11%
HDD	1,592	1,525	▲67	▲4.2	1%
その他	88	102	14	16.2	16%
デバイスソリューション	3,979	3,509	▲469	▲11.8	▲9%
LSI	2,579	2,225	▲354	▲13.7	▲12%
電子部品他	1,400	1,284	▲115	▲8.2	▲3%

注1) 売上高にはセグメント間の内部売上高を含みます。

注2) 為替影響除く前年同期比増減率は概算値にて算出しております。

③テクノロジーソリューションの営業利益内訳

（単位：億円）

	2007年度 第2四半期累計 〔2007年4月1日～ 2007年9月30日〕	2008年度 第2四半期累計 〔2008年4月1日～ 2008年9月30日〕	前年同期比	
			増減率(%)	増減率(%)
テクノロジーソリューション	387 (2.6%)	573 (3.8%)	186 (1.2%)	48.1
サービス	481 (4.0%)	512 (4.3%)	31 (0.3%)	6.5
システムプラットフォーム	▲93 (▲3.0%)	61 (1.9%)	155 (4.9%)	-

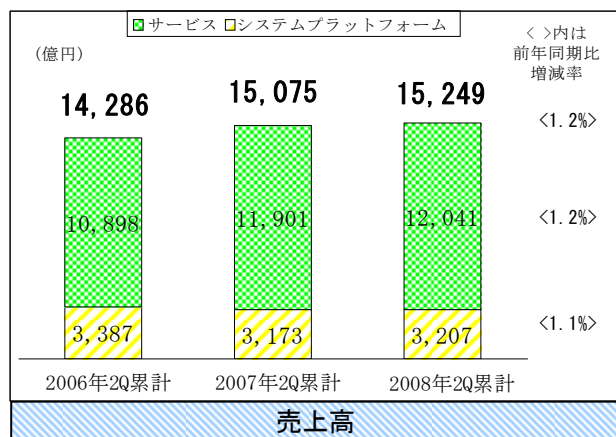
注) () 内は営業利益率であります。

【セグメント別の状況】

セグメント別の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）及び営業利益は以下のとおりです。

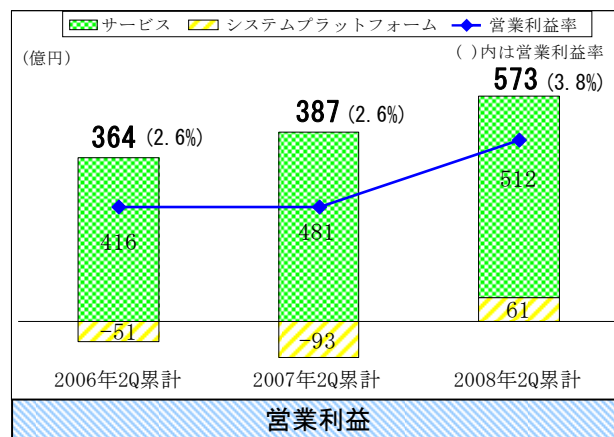
<事業別>

(1) テクノロジーソリューション



	2008年2Q(累計)	前年同期比増減率
売上高	15,249 億円	1.2%
国内	9,962	7.4
海外	5,286	▲ 8.9

	2008年2Q(累計)	前年同期比
営業利益	573 億円	186 億円



	2008年2Q(3ヶ月)	前年同期比増減率
営業利益	8,270 億円	0.3%
国内	5,554	6.9
海外	2,715	▲ 10.9

	2008年2Q(3ヶ月)	前年同期比
営業利益	491 億円	143 億円

売上高は第2四半期累計で1兆5,249億円と、前年同期比1.2%の増収になりました。国内は7.4%の増収です。SIビジネスを中心にサービス事業が伸長したほか、携帯電話基地局やキャリア向けルータ装置、サーバ関連などが増収となりました。海外は8.9%の減収となりましたが、為替の影響を除くと2%の増収です。UNIXサーバや英国の光伝送システムは減収となりましたが、欧州の民需系ビジネスを中心にサービス事業が伸長しました。

営業利益は573億円と、前年同期比186億円の増益になりました。欧州でのサービス事業で、民需系ビジネスの拡大強化に伴う初期コスト負担はありましたが、国内での携帯電話基地局、SIビジネス、サーバ関連の増収効果やコスト効率化などにより増益となりました。

① サービス

	2008年2Q(累計)	前年同期比増減率
売上高	12,041 億円	1.2%
国内	7,714	5.9
海外	4,326	▲ 6.3

	2008年2Q(累計)	前年同期比
営業利益	512 億円	31 億円

	2008年2Q(3ヶ月)	前年同期比増減率
売上高	6,490 億円	0.2%
国内	4,280	4.9
海外	2,209	▲ 7.7

	2008年2Q(3ヶ月)	前年同期比
営業利益	393 億円	62 億円

売上高は第2四半期累計で1兆2,041億円と、前年同期比1.2%の増収になりました。国内は5.9%の増収です。SIビジネスが公共、金融、ヘルスケアなどの分野を中心に伸長したほか、アウトソーシングサービスも増収となりました。海外は6.3%の減収となりましたが、為替の影響を除くと5%の増収です。欧州大陸向けを中心に民需系ビジネスが伸長しました。

営業利益は 51.2 億円と、前年同期比では 3.1 億円の増益です。欧州大陸向けを中心とした民需系ビジネス拡大強化に伴う初期コストの負担はありましたが、国内 S I ビジネスの増収効果やコスト効率化により増益となりました。第 1 四半期は、国内ビジネスが引き続き堅調に推移したものの、海外ビジネスの悪化により減益となりましたが、第 2 四半期累計では増益に転じました。第 2 四半期において、国内ビジネスの利益が大幅に増加したことに加え、海外ビジネスの損益が改善したことによりです。

当社グループは 10 月に、グローバルビジネス強化の一環として北米におけるフォーメーションの見直しを行い、富士通コンサルティング、富士通コンピュータシステムズ及び富士通トランザクションソリューションズの 3 社を、新設した持株会社「富士通ノースアメリカ・ホールディングズ」の子会社とする経営統合を実施しました。この統合により営業活動の一体化を進め、北米でのプレゼンス向上や経営の効率化を目指してまいります。

②システムプラットフォーム

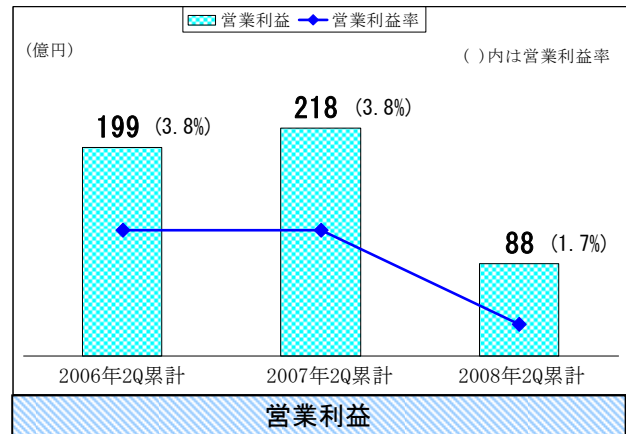
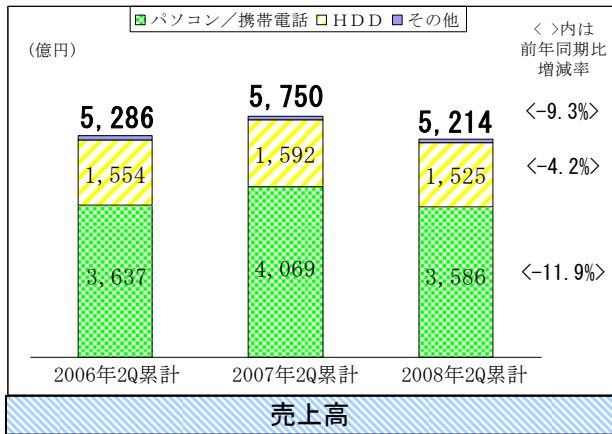
	2008 年 2Q (累計)	前年同期比増減率	2008 年 2Q (3 ヶ月)	前年同期比増減率
売上高	3,207 億円	1.1 %	1,779 億円	0.7 %
国内	2,247	13.0	1,273	14.5
海外	959	▲ 18.9	506	▲ 22.7
営業利益	61 億円	155 億円	98 億円	80 億円

売上高は第 2 四半期累計で 3,207 億円と、前年同期比 1.1 % の増収になりました。国内は 13.0 % の増収です。前年度後半から携帯電話基地局の売上が回復してきたほか、キャリア向けルータ装置やサーバ関連が伸長しました。海外は 18.9 % の減収となり、為替の影響を除いても 9 % の減収です。UNIX サーバが、前年同期に新機種の販売開始に伴う一時的な需要の重複が生じたほか、北米市場での市況悪化影響により減収となったことに加え、英国の光伝送システムも減収となりました。

営業利益は 61 億円と、前年同期比 15.5 億円の改善となりました。海外向け UNIX サーバの減収の影響はありましたが、国内での携帯電話基地局、サーバ関連の増収効果やコスト効率化により前年同期の 9.3 億円の赤字から大幅に改善し、黒字転換しました。また、売上水準の低い第 1 四半期は 3.7 億円の赤字でしたが、第 2 四半期では国内を中心とした売上の増加に伴い 9.8 億円の黒字となりました。

7 月に国内向け光伝送システム事業を再編し、当社の製造部門及び国内向け開発部門を簡易吸収分割により富士通アクセス（富士通テレコムネットワークスに商号変更）に統合いたしました。この再編により、当社グループの国内向け光伝送システム事業において、開発から製造まで一貫した事業構造を確立し、よりスピーディーかつ高品質な製品開発・製造を行いお客様のニーズに対応した製品を提供してまいります。

(2) ユビキタスプロダクトソリューション



	2008年2Q(累計)	前年同期比増減率
売上高	5,214 億円	▲ 9.3%
国内	3,448	▲ 6.1
海外	1,766	▲ 15.1

2008年2Q(3ヶ月)	前年同期比増減率
2,495 億円	▲ 16.9%
1,581	▲ 17.7
914	▲ 15.6

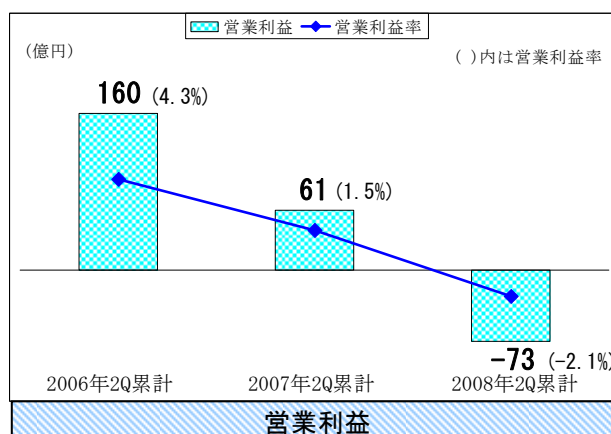
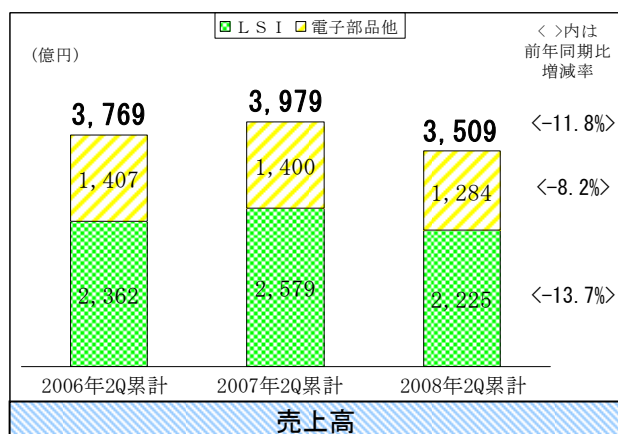
	2008年2Q(累計)	前年同期比
営業利益	88 億円	▲ 129 億円

2008年2Q(3ヶ月)	前年同期比
▲ 10 億円	▲ 105 億円

売上高は第 2 四半期累計で 5,214 億円と、前年同期比 9.3% の減収になりました。国内は 6.1% の減収です。第 1 四半期は 6.7% の増収でしたが、第 2 四半期は 17.7% の減収となりました。携帯電話が販売方式の変更に伴う買替サイクルの長期化の影響などにより伸び悩みました。第 1 四半期までは堅調に推移してきたパソコンも第 2 四半期に入り価格競争が激化し、企業向け需要の伸び悩みもあり第 2 四半期累計では減収となりました。海外は 15.1% の減収となり、為替の影響を除いても 9% の減収です。HDD や欧州向けパソコンが競争激化の影響を受けました。

営業利益は 88 億円と、前年同期比 129 億円の減益になりました。前年度後半からの垂直磁気記録方式の新機種生産拡大によるノートパソコン向け HDD の改善はありましたが、携帯電話の減収影響や高機能化に伴うコスト増加の影響などにより減益となりました。また第 2 四半期の営業利益はユビキタスプロダクトソリューション合計で 10 億円の損失となり、第 1 四半期の 99 億円の利益から大幅に悪化しました。携帯電話の販売が大幅に減少したほか、パソコンが国内を中心とした競争激化の影響を受けました。HDD においても、グローバルな価格競争がますます厳しくなった影響がありました。

(3) デバイスソリューション



	2008年2Q(累計)	前年同期比増減率
売上高	3,509 億円	▲ 11.8%
国内	2,138	▲ 18.2
海外	1,371	0.4

2008年2Q(3ヶ月)	前年同期比増減率
1,785 億円	▲ 14.5%
1,063	▲ 22.4
722	0.7

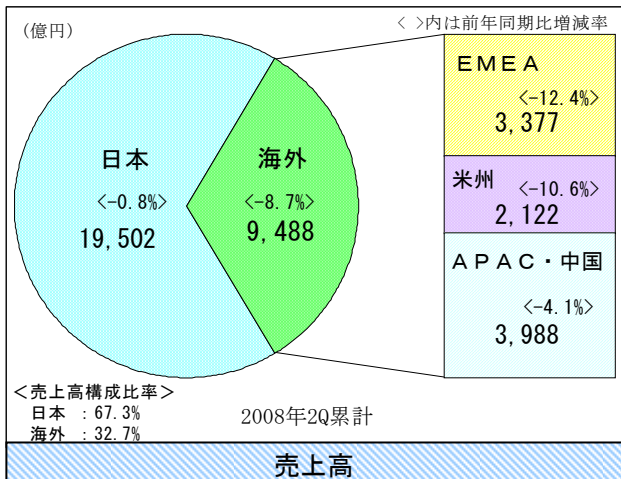
	2008年2Q(累計)	前年同期比
営業利益	▲ 73 億円	▲ 134 億円

2008年2Q(3ヶ月)	前年同期比
▲ 25 億円	▲ 122 億円

売上高は第2四半期累計で3,509億円と、前年同期比11.8%の減収になりました。国内は18.2%の減収です。65nmロジック製品は自社製サーバ用や画像処理用などで第2四半期に売上が拡大しましたが、90nmロジック製品や基盤ロジック製品はデジタル家電向け、携帯電話向けなどで所要が低迷し減収となりました。また、携帯電話向けフラッシュメモリや電子部品他も減収となりました。第1四半期は13.5%、第2四半期は22.4%の減収となり、所要の低迷は厳しさを増しています。海外はほぼ前年同期並みですが、為替の影響を除くと9%の増収です。アジア向けを中心にロジック製品が伸長しました。

営業利益は73億円の損失となりました。LSIは所要が低迷したほか、6月及び7月に岩手地区で発生した地震により基盤ロジック製品を製造する岩手工場の操業が停止した影響もあり、第2四半期も損失となりました。前年同期比はデバイスソリューション合計で134億円の悪化となりました。LSIは先端プロセスの開発ラインを三重工場に集約したことによる開発費の効率化の効果はありましたが、地震による損失の計上や第2四半期に入り深刻化してきた所要低迷に伴う減収影響により悪化したほか、電子部品他は為替影響や価格競争の影響を受けました。

<所在地別>



〔営業利益〕

(単位: 億円)

	2008年度 2Q(累計)	前年 同期比	2008年度 2Q(3ヶ月)	前年 同期比
日本	620 (3.2%)	54 (0.3%)	421 (4.1%)	▲ 53 (▲ 0.4%)
海外	68 (0.7%)	▲ 96 (▲ 0.9%)	64 (1.3%)	▲ 39 (▲ 0.6%)
EMEA (欧州・中近東・アフリカ)	2 (0.1%)	▲ 43 (▲ 1.1%)	16 (1.0%)	▲ 19 (▲ 0.8%)
米州	14 (0.7%)	▲ 35 (▲ 1.4%)	5 (0.5%)	▲ 26 (▲ 2.0%)
APAC・中国 (アジア・パシフィック)	51 (1.3%)	▲ 18 (▲ 0.4%)	43 (2.1%)	6 (0.5%)

注) () 内は営業利益率

日本は売上高 1 兆 9, 502 億円と、第 2 四半期累計ではほぼ前年同期並みになりました。第 1 四半期は 2. 5% の増収でしたが、第 2 四半期は 3. 7% の減収となりました。S I ビジネスや携帯電話基地局、キャリア向けルータ装置は第 1 四半期、第 2 四半期ともに増収となりましたが、第 1 四半期に減収となったパソコンや携帯電話、L S I は第 2 四半期に入っても伸び悩み、大幅な減収となりました。営業利益は 6 20 億円と、前年同期比 5 4 億円の増益になりました。携帯電話や L S I の減収影響はありましたが、携帯電話基地局やサービス事業の増収効果、コスト効率化などにより全体としては増益となりました。

海外は売上高が 9, 488 億円となりました。前年同期比では 8. 7% の減収ですが、為替の影響を除くとほぼ前年同期並みです。営業利益は 6 8 億円と、前年同期比 9 6 億円の減益になりました。

EMEA は売上高が 3, 377 億円となりました。前年同期比では 1 2. 4% の減収ですが、為替の影響を除くとほぼ前年同期並みです。光伝送システムが減収となったものの、サービス事業が欧州大陸向けの民需系ビジネスを中心に伸ばしました。営業利益は 2 億円となりました。第 1 四半期は 1 4 億円の損失でしたが、第 2 四半期の利益計上により第 2 四半期累計でも利益となりました。前年同期比では 4 3 億円の減益になりました。光伝送システムは次世代ネットワークに係る開発費負担の減少により損失が縮小しましたが、サービス事業における民需系ビジネスの拡大強化に伴う初期コスト負担の影響がありました。

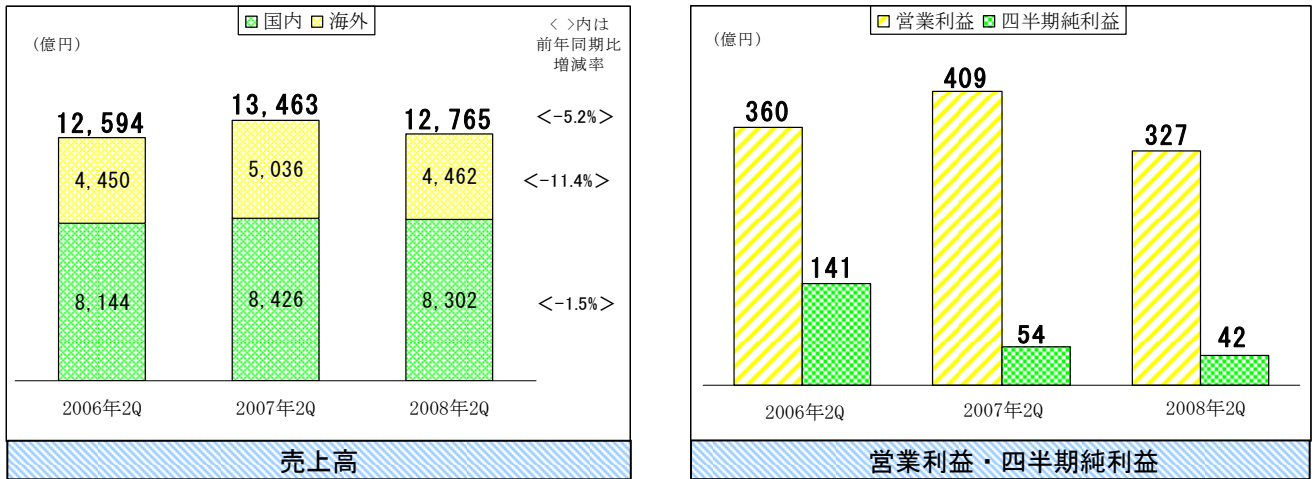
米州は売上高が 2, 122 億円となりました。前年同期比では 1 0. 6% の減収ですが、為替の影響を除くとほぼ前年同期並みです。UNIX サーバや HDD は伸び悩みましたが、光伝送システムは増収となりました。サービス事業は、市況悪化により直近 3 ヶ月では減収となったものの、第 2 四半期累計ではほぼ前年同期並みとなりました。営業利益は 1 4 億円と、前年同期比 3 5 億円の減益になりました。次世代ネットワークに係る開発費用の増加や、サービス事業における新規商談獲得のための費用が増加したことなどによります。

APAC・中国は売上高が 3, 988 億円となりました。前年同期比では 4. 1% の減収となり、為替の影響を除いても 3% の減収です。営業利益は 5 1 億円と、前年同期比 1 8 億円の減益になりました。HDD や電子部品他が競争激化の影響を受けたほか、サービス事業の規模拡大に伴い販売費及び一般管理費が増加したことなどによります。

Ⅲ. 第 2 四半期（直近 3 ヶ月）

過年度の売上高及び損益、前年同期比（増減率）は参考として記載しております。また、為替影響除く前年同期比増減率は、概算値にて算出しております。

【損益の状況】



当第 2 四半期の売上高は 1 兆 2,765 億円と、前年同期比 5.2% の減収となりました。国内は 1.5% の減収です。S I ビジネスが公共、金融分野を中心に伸長したほか、携帯電話基地局やキャリア向けルータ装置、サーバ関連が増収となりましたが、買替サイクルの長期化の影響により携帯電話が減収となったほか、パソコンや L S I が伸び悩みました。海外は 11.4% の減収となり、為替の影響を除くと 3% の減収です。U N I X サーバが、前年同期に新機種の販売開始に伴う一時的な需要の重複が生じたほか、北米市場での市況悪化影響により減収となったことに加え、HDD がグローバルな競争激化の影響を受けました。

営業利益は 327 億円と、前年同期比 82 億円の減益になりました。国内での S I ビジネスや携帯電話基地局、サーバ関連の増収効果やコスト効率化はありましたが、パソコンや携帯電話、L S I の減収影響などにより売上総利益が前年同期比 90 億円減少しました。販売費及び一般管理費は、前年度の年金資産の運用環境悪化による退職給付積立不足償却額の増加はありましたが、開発費用の効率化や為替影響などにより前年同期比 7 億円減少しました。

経常利益は 206 億円と、営業利益の悪化により前年同期比 57 億円の減益になりました。営業外損益は、欧州でのパソコン、サーバの競争激化による合弁会社の販売不振で持分法損益の悪化はありましたが、固定資産廃棄損の減少などにより 24 億円改善しました。

株式の売却益 6 億円を特別利益に、電子部品事業に係る減損損失 21 億円を特別損失にそれぞれ計上し、法人税等や少数株主利益を控除した結果、四半期純利益は 42 億円と、前年同期比 11 億円の減益となりました。

[セグメント情報]

①事業の種類別セグメント情報

(単位：億円)

		2007年度 第2四半期	2008年度 第2四半期	前年同期比	
		〔2007年7月1日～ 2007年9月30日〕	〔2008年7月1日～ 2008年9月30日〕		増減率(%)
テクノロジー ソリューション	売上高	8,243	8,270	26	0.3
	国内	5,194	5,554	360	6.9
	海外	3,049	2,715	▲ 333	▲ 10.9
	営業利益 (営業利益率)	348 (4.2%)	491 (5.9%)	143 (1.7%)	41.2
ユビキタス プロダクト ソリューション	売上高	3,004	2,495	▲ 508	▲ 16.9
	国内	1,921	1,581	▲ 339	▲ 17.7
	海外	1,082	914	▲ 168	▲ 15.6
	営業利益 (営業利益率)	94 (3.1%)	▲ 10 (▲ 0.4%)	▲ 105 (▲ 3.5%)	-
デバイス ソリューション	売上高	2,088	1,785	▲ 303	▲ 14.5
	国内	1,371	1,063	▲ 307	▲ 22.4
	海外	717	722	4	0.7
	営業利益 (営業利益率)	97 (4.7%)	▲ 25 (▲ 1.4%)	▲ 122 (▲ 6.1%)	-
その他	売上高	1,312	1,285	▲ 27	▲ 2.1
	国内	891	926	35	4.0
	海外	421	358	▲ 62	▲ 14.8
	営業利益 (営業利益率)	31 (2.4%)	26 (2.0%)	▲ 5 (▲ 0.4%)	▲ 17.4
消去又は全社	売上高	▲ 1,186	▲ 1,072	114	-
	営業利益	▲ 161	▲ 154	7	-
連結	売上高	13,463	12,765	▲ 698	▲ 5.2
	国内	8,426	8,302	▲ 124	▲ 1.5
	海外	5,036	4,462	▲ 573	▲ 11.4
	営業利益 (営業利益率)	409 (3.0%)	327 (2.6%)	▲ 82 (▲ 0.4%)	▲ 20.1

注) 売上高にはセグメント間の内部売上高を含みます。

②売上高の主要製品別内訳

（単位：億円）

	2007年度 第2四半期 〔2007年7月1日～ 2007年9月30日〕	2008年度 第2四半期 〔2008年7月1日～ 2008年9月30日〕	前年同期比		為替影響除く 前年同期比 増減率(%)
				増減率(%)	
テクノロジーソリューション	8,243	8,270	26	0.3	4%
サービス	6,476	6,490	13	0.2	4%
ソリューション/S I	3,218	3,360	142	4.4	5%
インフラサービス	3,114	2,993	▲120	▲3.9	3%
その他	144	136	▲7	▲5.3	▲5%
システムプラットフォーム	1,766	1,779	12	0.7	4%
システムプロダクト	912	899	▲12	▲1.4	0%
ネットワークプロダクト	854	880	25	3.0	7%
ユビキタスプロダクトソリューション	3,004	2,495	▲508	▲16.9	▲15%
パソコン/携帯電話	2,074	1,650	▲424	▲20.5	▲19%
HDD	879	794	▲84	▲9.6	▲6%
その他	50	50	0	1.1	1%
デバイスソリューション	2,088	1,785	▲303	▲14.5	▲12%
LSI	1,374	1,146	▲228	▲16.6	▲15%
電子部品他	714	639	▲75	▲10.5	▲6%

注1) 売上高にはセグメント間の内部売上高を含みます。

注2) 為替影響除く前年同期比増減率は概算値にて算出しております。

③テクノロジーソリューションの営業利益内訳

（単位：億円）

	2007年度 第2四半期 〔2007年7月1日～ 2007年9月30日〕	2008年度 第2四半期 〔2008年7月1日～ 2008年9月30日〕	前年同期比	
				増減率(%)
テクノロジーソリューション	348 (4.2%)	491 (5.9%)	143 (1.7%)	41.2
サービス	330 (5.1%)	393 (6.1%)	62 (1.0%)	18.9
システムプラットフォーム	17 (1.0%)	98 (5.5%)	80 (4.5%)	457.4

注) () 内は営業利益率であります。